

低入札価格調査制度の改正後の運用状況等について

1 要旨・目的

令和6年7月に一部見直しを行った低入札価格調査制度の調査基準価格の算定方法について、見直しから概ね4か月を経過したため、改正後の状況等について報告する。

2 現状・背景

調査基準価格への応札集中によるくじ引きの発生が課題となっていた中、令和4年度に発生した不正事案を契機に、実行予算に基づく入札を促進するため、令和5年9月に低入札価格調査制度を見直し、変動型調査基準価格を導入した。

令和6年7月には、調査基準価格の算出方法を一部見直し、応札者が5者以上の案件において標準偏差を用いた方法を適用することとした。

(改正前) 令和6年7月15日までに開札

	応札者5者未満	応札者5者以上
調査基準価格	入札価格の平均額×0.95	入札価格の平均額×0.95
総額失格基準	入札価格の平均額×0.9	入札価格の平均額-標準偏差(1σ)



(改正後) 令和6年7月16日以降に開札

	応札者5者未満	応札者5者以上
調査基準価格	入札価格の平均額×0.95	入札価格の平均額-標準偏差(0.5σ)
総額失格基準	入札価格の平均額×0.9	入札価格の平均額-標準偏差(1σ)

※調査基準価格の設定範囲は従来どおり(予定価格の82%~92%(測量・建設コンサルタント等業務は82%~90%))

※応札者数は、予定価格に対して適切に積算されていると認められないものを除いたもの

3 概要

(1) 調査対象

土木建築局及び農林水産局発注の建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務

(2) 調査期間

令和6年7月16日~令和6年11月20日

(調査基準価格の算出方法の見直し前と落札率等を比較)

(3) 調査結果（令和6年11月20日時点速報値）※詳細は別紙参照

ア 落札率等の状況（土木建築局・農林水産局）

《建設工事》

（単位：％）

	変動型以前								変動型		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (～8)	改正前		改正後
									R5 (9～)	R6 (～7.16)	R6 (7.16～)
落札率(平均)	91.9	92.3	93.7	95.8	95.8	94.1	94.4	93.2	92.6	91.8	92.0
調査基準価格比率(平均)	89.7	89.7	89.7	89.8	89.7	89.7	89.7	89.8	88.3	87.7	88.3
くじ引き発生率	29.0	28.1	25.2	15.3	15.9	25.2	25.5	34.2	7.8	4.9	2.3
低価格入札者との契約の発生率	5.0	4.4	3.1	0.5	0.7	0.4	0.4	0.2	1.1	0.5	2.3

《測量建設コンサルタント等業務》

（単位：％）

	変動型以前								変動型		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (～8)	改正前		改正後
									R5 (9～)	R6 (～7.16)	R6 (7.16～)
落札率(平均)	90.2	90.2	89.9	90.4	90.1	90.3	90.0	89.9	90.4	87.4	89.5
調査基準価格比率(平均)	89.0	89.0	89.0	89.2	89.1	89.2	89.3	89.3	88.9	85.6	87.8
くじ引き発生率	47.9	49.2	65.1	67.0	69.2	65.0	63.6	57.4	30.9	41.7	21.4
低価格入札者との契約の発生率	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.5	0.9	0.8

イ 落札率分布

《建設工事》

（単位：％）

	R5(～8)	R5(9～)	R6 (～7.16)	R6 (7.16～)
95 以上	36	43	35	31
92～95	3	8	9	13
90～92	3	5	13	13
88～90	58	20	14	13
85～88	0	10	14	22
85 未満	0	14	15	8 (※)

※うち 82% (下限値)での落札は 1 件

《測量建設コンサルタント等業務》

（単位：％）

	R5(～8)	R5(9～)	R6 (～7.16)	R6 (7.16～)
95 以上	4	9	10	9
92～95	4	8	7	7
90～92	1	17	6	7
88～90	87	53	24	50
85～88	4	7	9	8
85 未満	0	6	44	18(※)

※うち 82% (下限値)での落札は 7 件

(4) 状況分析

ア 建設工事

全体の落札率等は横ばい、低落札率帯での受注割合は減少、一定程度生じていた下限値での落札はほぼ皆減。

イ 測量・建設コンサルタント等業務

発注の集中する年度当初は拡大傾向にあった下限付近の落札が 7 月改正後は大幅に減少。くじ引きも増加傾向にあったが、再び減少。

(5) 今後の対応

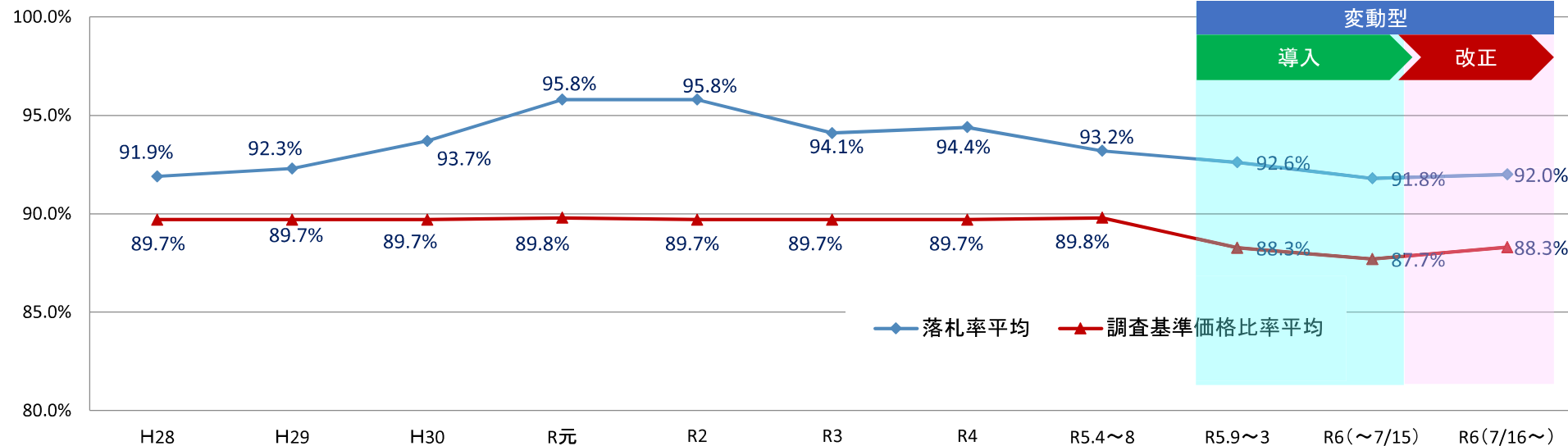
引き続き入札動向等を注視し課題を分析。

【建設工事】落札率等の推移(土木、農林発注分)

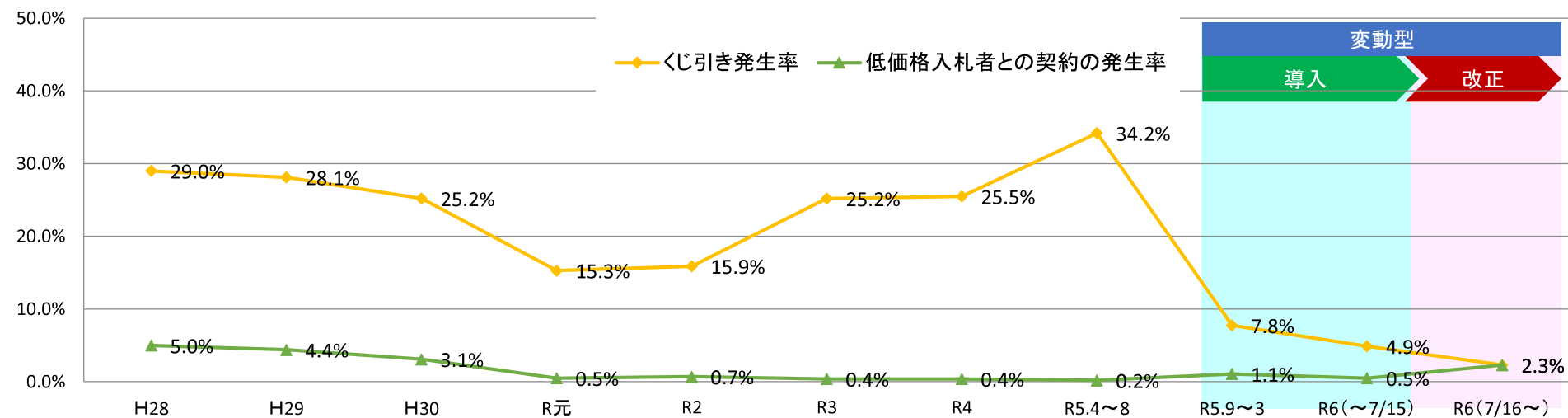
別紙

落札率及び調査基準価格比率の推移

【R6.11.20時点契約済(随契除く)速報値】



くじ引き発生率及び低価格入札者との契約の発生率の推移



【建設工事】落札率分布の推移(土木、農林発注分)

変動型導入前

変動型(導入)

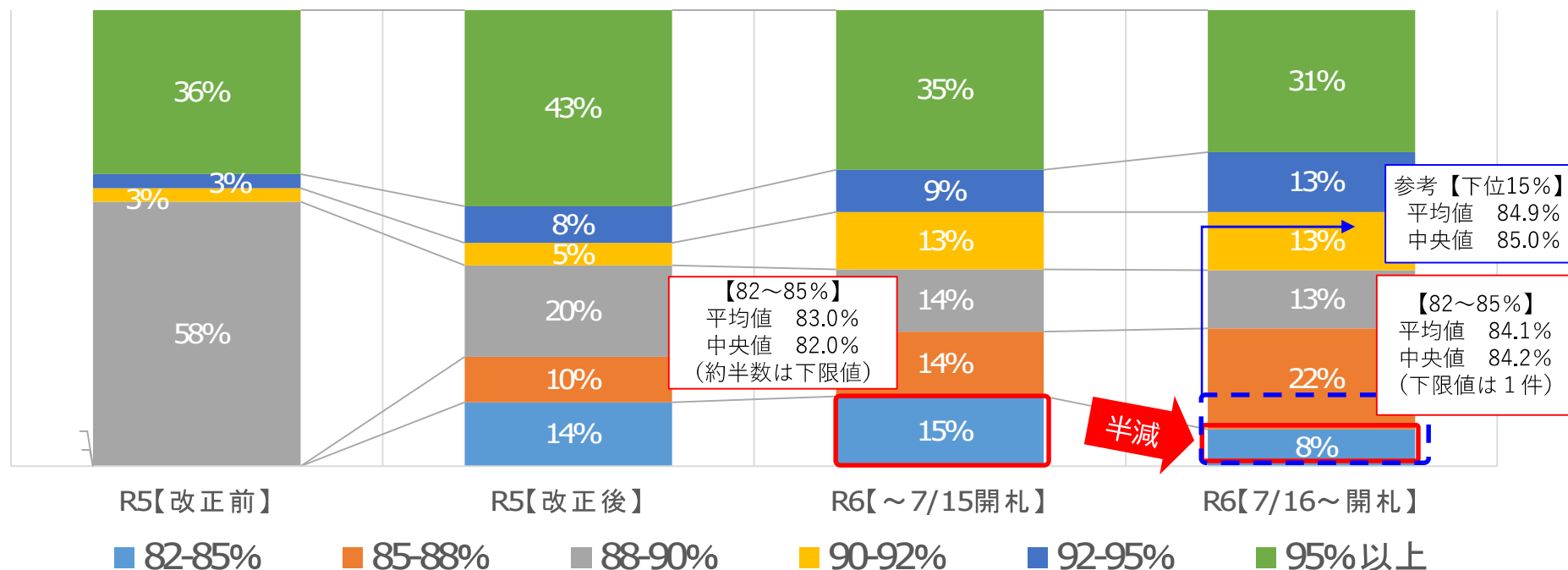
変動型(見直し)

R5【改正前】
(489件/93.2%)

R5【改正後】
(554件/92.6%)

R6【～7/15開札】
(183件/91.8%)

R6【7/16～開札】
(394件/92.0%)



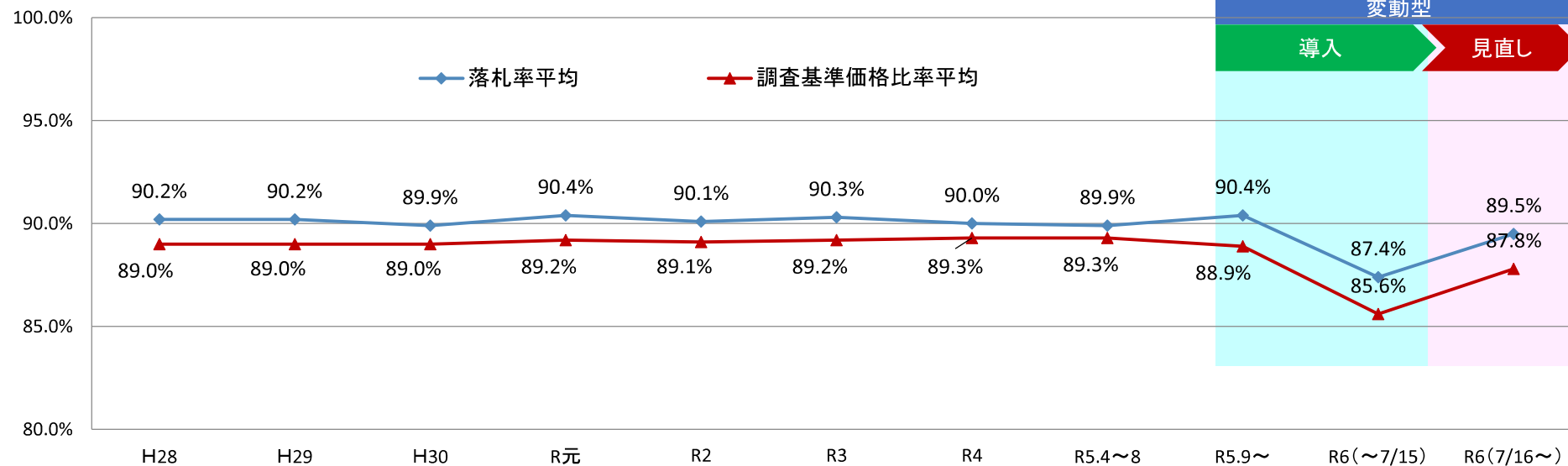
(7月改正による変化)

- ・ 下限値付近(82～85%)での落札は改正前の概ね半減(改正前:14～15%→改正後8%)
- ・ 下限値(82%)での落札はほぼ皆減(改正前:約7%(85%未満の約半数)→改正後0.3%(1件))

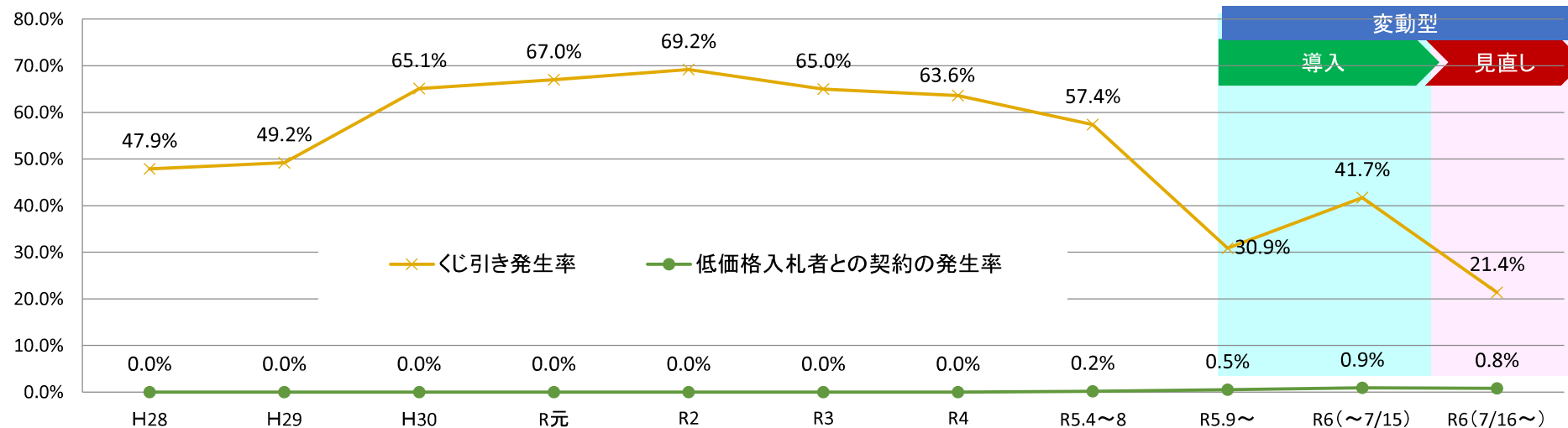
【コンサル】落札率等の推移(土木、農林発注分)

落札率及び調査基準価格比率の推移

【R6.11.20時点契約済(随契除く)速報値】



くじ引き発生率及び低価格入札者との契約の発生率の推移



【コンサル】落札率分布の推移(土木、農林発注分)

変動型導入前

変動型(導入)

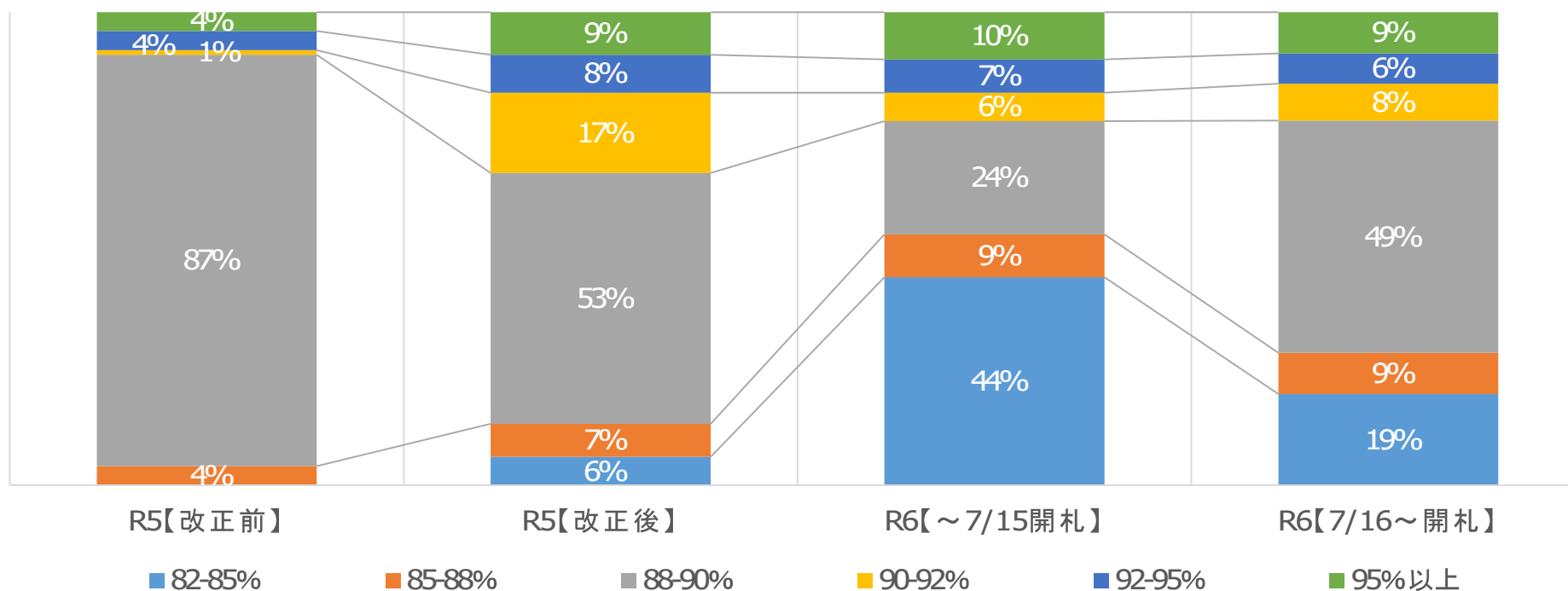
変動型(見直し)

R5【改正前】
(508件/89.9%)

R5【改正後】
(191件/90.4%)

R6【～7/15開札】
(347件/87.4%)

R6【7/16～開札】
(252件/89.5%)



(7月改正による変化)

- ・ 年度当初(改正前)は下限値付近(82～85%)での落札が大きく増加したが、再び減少
(R5:6%→R6(改正前)44%→R6(7月改正後19%)